TOKYO MIDTOWN

STYLE

東京ミッドタウンスタイル

「東京ミッドタウン日比谷」開業！

【特集】

2つの東京ミッドタウン その魅力を徹底解剖

No.37

SPRING 2018

Tokyo Midtown Meets the Green Gardens of Hibiya

新しい「東京ミッドタウン」誕生

日本の新しい価値・感性を、世界に発信する「東京ミッドタウン」。
年を経るほどに進化を続け、昨年春、六本木の地で開業10周年を迎えました。
季節はめぐり、再び桜咲く2018年春。「東京ミッドタウン日比谷」が開業します。
明治時代には鹿鳴館をはじめ、帝国ホテルや日比谷公園、帝国劇場などが建造され、
日比谷は、東京のなかでも洋風化の中心となった街でした。
1929年に完成したアールデコ様式のオフィスビル、三信ビルディングも評判を呼び、
劇場や映画館も次々と開場して、エンターテインメントの街として栄えました。
この歴史文化を背景に、新たに誕生する「東京ミッドタウン日比谷」。
公園を望む圧倒的なパノラマビューが、広場のある街の緑とつながり、
芸術文化を愛する人たちが集い憩う、気品あふれる空間。
3月29日、日比谷の街の新しい物語の第1章が始まります。

CONTENTS

2 新しい「東京ミッドタウン」誕生

4 特集
2つの東京ミッドタウン
その魅力を徹底解剖
東京ミッドタウン（六本木）と新しく生まれた東京ミッドタウン日比谷。
歴史や文化もそれぞれ個性的な両者の魅力を比較しながら紹介。

30 NEW SHOP PREVIEW
この春、東京ミッドタウンに
オープンする3店

31 Spring Event News

32 東京ミッドタウン「ガレリア」のBGM選曲を担当
上原ひろみさんインタビュー

33 Present & Contact Information

34 Essay by Robert Campbell
［ロバート キャンベルの連載エッセイ］
零れもの三昧

※記載の金額はすべて税込価格です。また、価格は諸般の事情により変更となる場合があります。

2つの東京ミッドタウン
その魅力　を徹底解剖

開業11年目となる「東京ミッドタウン（六本木）」と
この春開業する「東京ミッドタウン日比谷」。
豊かな緑に包まれた2つの東京ミッドタウンを、
その歴史やコンセプトから店舗まで、徹底解剖する。

Photos:Sadato Ishizuka（p18,20-21,28-29）, Yufuko Uehara（p5, 20, 26-29）, Shin Kimura（p22-25）
Katsuo Takashima（p26）, Takumi Taniguchi（p4-5,10-11,14-15）, Akiko Fukuchi（p27）
Illustrations:Kanako Sasaki　Text:Arata Sakai, Kimiko Tagawa, Yui Togawa,
Shingo Matsuoka　Cooperation:UTSUWA

SCENIC VIEW

パークビューガーデン

1階アトリウムからエレベーターで6階へ上がる。ガラスフェンス越しに日比谷公園が眼下に広がり、皇居外苑までもつながる圧倒的なパノラマビューは見逃せない。

《 In the Park 》

日比谷公園の緑とつながる圧倒的な眺望！パークビューガーデン

「東京ミッドタウン日比谷」6階のパークビューガーデンに上がると、都心とは思えない空の大きさに気づく。日比谷公園から皇居外苑へと連なる緑が眼下に広がり、まさに「In the Park」というコンセプトが実感できる。

「緑の海が見える連続性を大切にしました」と話すのは、「東京ミッドタウン日比谷」のデザインを手がけたホプキンスアーキテクツの星野裕明さん。設計責任者のサイモン・フレーザー氏と共に、ロンドンやドバイで多くのプロジェクトを担ってきた建築家だ。

「その土地の風土や歴史を踏まえたデザインは私たちの信条ですが、与えられた課題は日比谷らしさでした。東京の街はどこも個性的で、たとえば日本橋は和のイメージ。丸の内の街路は直線的で、建築もシカゴのようでいわば男性的。一方、丸の内や霞が関、銀座、新橋に囲まれた日比谷は、明治以来、洋風化が進んだ街で、劇場や映画館が充実して、華やかな印象です」

生まれたのは〝ダンシングタワー〟というデザインコンセプト。鹿鳴館の歴史からインスピレーションを受け、舞踏会で踊る女性の翻（ひるがえ）るスカートのような、優美な曲線を描く建物となった。ガラスと金属を施した外装も見る位置によって表情を変える。低層階もかつての三信ビルディングのイメージを受け継ぐ石張りの壁で、曲線的なデザインだ。

「周囲の緑と一体化させるうえで植栽も重要でした。1、2階の日比谷ステップ広場は、ローマのスペイン広場のように、階段に人が集まれる美しい広場を目指しました。エスカレーターで6階に上れば、パークビューガーデンの植栽と公園やお堀の緑がつながります」

パークビューガーデンを柔らかく包む設計はビル風も遮り、壁を覆う植栽も、人々に優しいデザインだ。テラスからの眺めが楽しめるレストランもあり、注目の的になっている。

お話を伺った人

ホプキンスアーキテクツ
日本代表
星野裕明さん

NEW DINING

DRAWING HOUSE OF HIBIYA

テラス席もある眺望抜群のレストラン＆ティールーム。フレンチをベースに、日本各地の四季の食材を生かした旬の料理が味わえる。

Shop Data
東京ミッドタウン日比谷6F
☎ 03-3519-3700
11:00〜23:00（L.O.22:00）

11年前、六本木の防衛庁の跡地に誕生した「東京ミッドタウン」。都心にはまれな10ヘクタールもの大きな敷地。その4割を緑のオープンスペースが占め、古くから根付くサクラやクスノキが枝を広げている。

豊かな緑を生かしたい。その思いから、人と緑が共生する空間「On the Green」というコンセプトが生まれた。

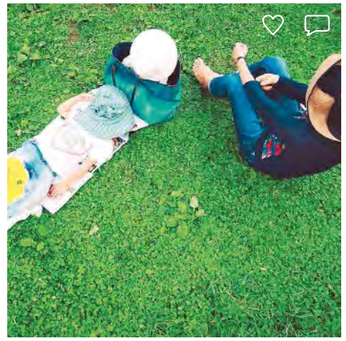
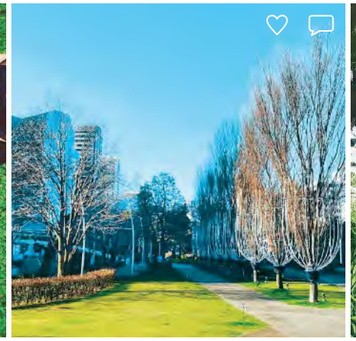
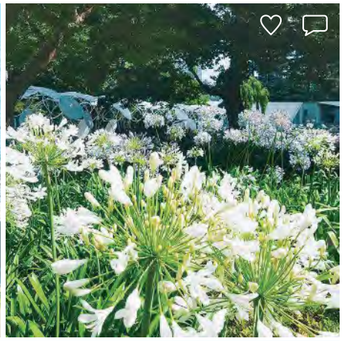
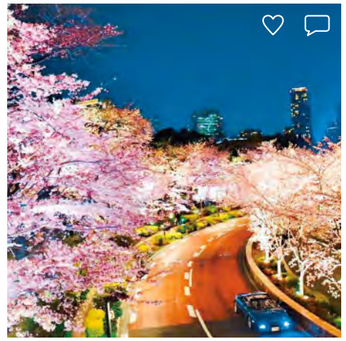
ガーデン・デザインを手がけたのは、サンフランシスコのAECOM。コンセプト実現のために採用されたのは、アジアと西洋の庭園文化の融合だった。

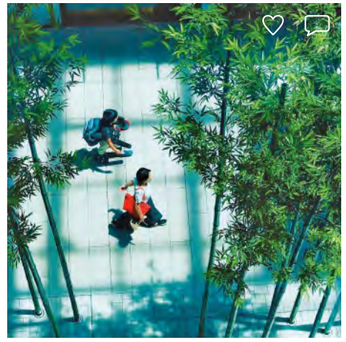
敷地の高低差を自然の変化になぞらえ、山の湧き水がやがて川となるドラマチックな計画が展開された。土や岩、植栽など庭園の要素が水景と調和し、建築に美しく映える。

ミッドタウン・ガーデンに完成したのは「高原の湧水ゾーン」「山のせせらぎゾーン」「森のエッジゾーン」「芝生広場ゾーン」というバラエティ豊かなランドスケープ。あたかも旅をするようなわくわくする感覚とともに景色の変化を楽しむことができる。

人々はそれぞれに遊び、語らい、くつろぎ、ひとときを過ごす。世代を超えて愛される「東京ミッドタウン」の庭はこうして実現した。

残された140本もの木々を中心に、春のサクラ、新緑の季節、木陰に涼を求める夏、秋の紅葉、冬にはスケートリンクと、四季折々の楽しみを提供する。自然のアートギャラリーこそ「東京ミッドタウン」のシンボルだ。

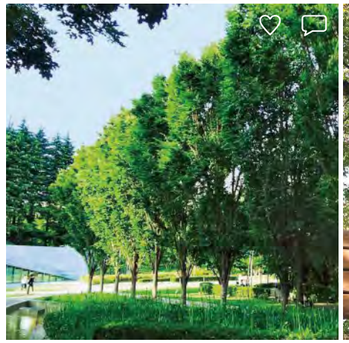
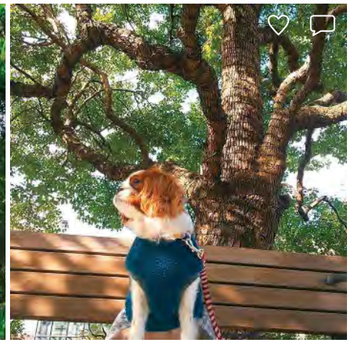
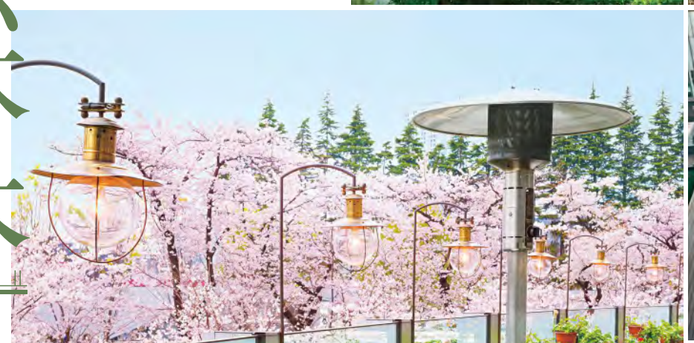
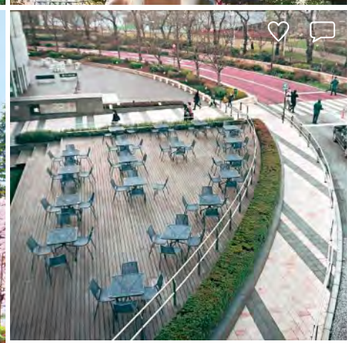





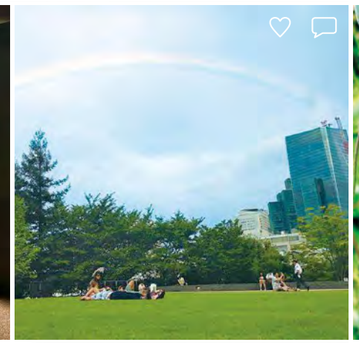
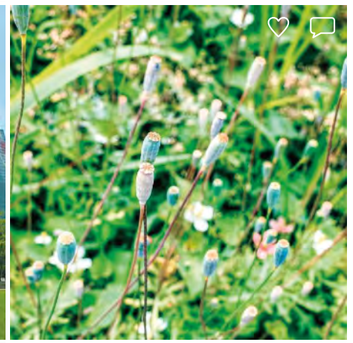


東京ミッドタウン 六本木

tokyo midtown ambassador とは?

掲載写真の多くは「東京ミッドタウン・アンバサダー」によってインスタグラムにアップされたもの。「東京ミッドタウン」で撮影した写真にハッシュタグ「#midtown_amb」をつけて投稿すると、誰もが東京ミッドタウンのアンバサダーになれる。http://www.tokyo-midtown.com/jp/ambassador/#/boards/tmtamb

2つの東京ミッドタウンを　徹底図解

「六本木」に続き、「日比谷」に新しい東京ミッドタウンが誕生する。
ともに都会の真ん中にありながら緑豊かな環境に恵まれ、
街のランドマークでもある2つの東京ミッドタウンを図解で徹底比較する。

東京ミッドタウン「六本木」

ショップ&レストラン、アート&デザイン、ホテル、ビジネス、レジデンス。
都会の上質なライフスタイルをまるごとおさめた複合施設。
周囲を取り巻く緑の空間には「東京ミッドタウン」の無限の可能性が広がる。

〔 Data 〕

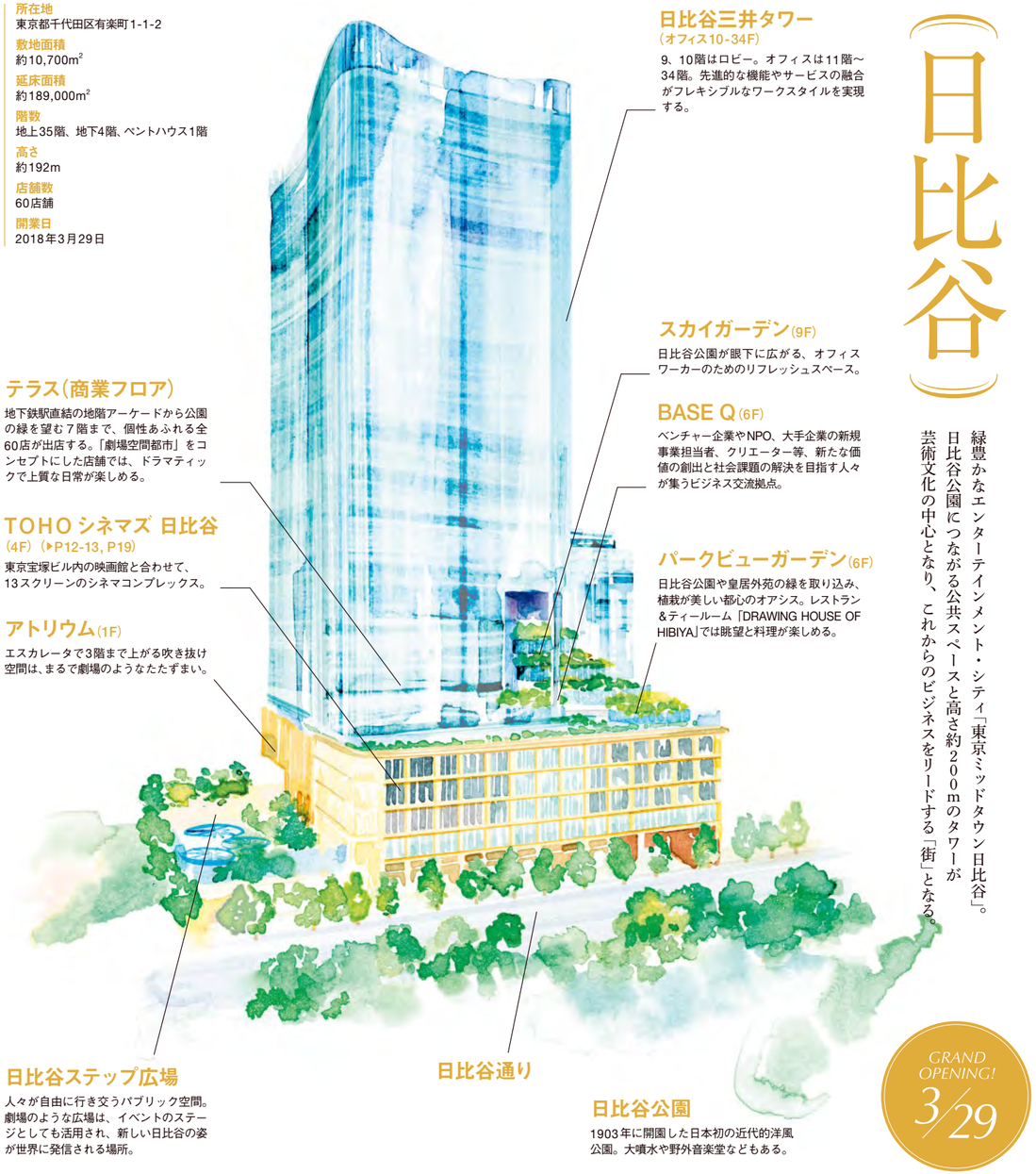
- **所在地** 東京都港区赤坂9-7-1 他
- **敷地面積** 約68,900m²
- **延床面積** 約563,800m²
- **階数** 地上54階、地下5階
- **高さ** 約248m
- **店舗数** 約130店舗
- **開業日** 2007年3月30日

東京ミッドタウン「日比谷」

緑豊かなエンターテインメント・シティ「東京ミッドタウン日比谷」。
日比谷公園につながる公共スペースと高さ約200mのタワーが
芸術文化の中心となり、これからのビジネスをリードする「街」となる。

〔 Data 〕

- **所在地** 東京都千代田区有楽町1-1-2
- **敷地面積** 約10,700m²
- **延床面積** 約189,000m²
- **階数** 地上35階、地下4階、ペントハウス1階
- **高さ** 約192m
- **店舗数** 60店舗
- **開業日** 2018年3月29日



GRAND OPENING! 3/29

SPECIAL INTERVIEW

宮本亜門

MIYAMOTO AMON

エンターテインメントの街、日比谷の魅力

日比谷は東京のブロードウェイになる

いよいよオープンする「東京ミッドタウン日比谷」。工事がたけなわとなる頃から、ひときわ熱い視線を注いでいた人がいる。演出家、宮本亜門さんだ。銀座生まれの亜門さんにとって、日比谷は〝庭先〟。幼い頃からなじみの深い場所だった。

「SKD(松竹歌劇団)で舞台に立っていたこともある母親に連れられて、子供の頃から数え切れないほどミュージカル映画や舞台を観ました。映画街には大変な熱気があっていつも立ち見客であふれていた。日比谷で過ごした日々がなかったら今のぼくはありません。日比谷はぼくの人生を決めた街でした」

「東京ミッドタウン日比谷」のオープンをきっかけに、街をあげて観劇の祭典「Hibiya Festival」が開かれる(4月26日～5月20日)。そのスタートに華を添える、一夜限りのオープニングステージのプロデューサーを務めるのが宮本亜門さんだ。

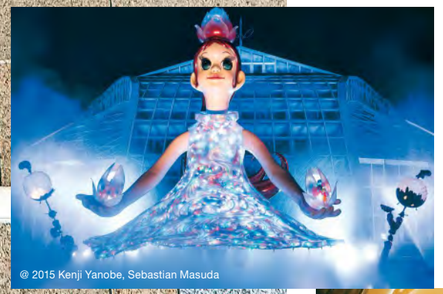
「お話をいただき、改めて開発に携わった方の思いを伺ったとき、ここまでエンターテインメントを押し出した街づくりがあったろうかと思いました。建物のコンセプトも、一組の男女が踊り、女性のスカートがやさしく翻(ひるがえ)る様子をイメージした〝ダンシングタワー〟だと聞きました。周囲に直線的なビルが立ち並ぶなかで、このウエーブはエレガントできれいです。低層部を石造りにして歴史を継承し、広場に、まるでステージのような美しい階段も設けられている。いい街ですね」

日比谷ステップ広場に立ち、ビルを見上げ、階段に佇みながら、亜門さんのなかで演出するオリジナルステージのイメージが膨らんでいった。

「ここは昔、鹿鳴館があったところです。日比谷は西洋を真っ先に受け入れ、日本のエンターテインメントをつくり上げてきた。ヤノベケンジ氏の「Flora(フローラ)」をアレンジして、鹿鳴館に憧れる少女を主人公にしました。この少女が、過去から現代、そして未来へ、時代とともに成長していく物語を50人以上のトップダンサーが綴ります。新しい日比谷が世界に向けたエンターテインメントの発信地になってほしいという願いを込めました」

かつて亜門さんが通いつづけた映画街とは姿を変えたが、今も日比谷には日生劇場や帝国劇場をはじめとする多くの劇場や映画館が軒を連ねる。全国を見渡しても、これだけの劇場が集まる場所は他にない。その彩り豊かな〝点〟を、今〝ダンシングタワー〟がつなぐ。その中心が優雅な曲線の階段、日比谷ステップだ。

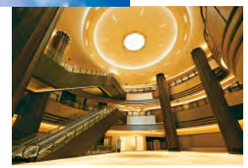
「東京ミッドタウン日比谷」は一棟の建物のオープンではない。それは広大な都市公園と多くの劇場・映画館をひとつに結んだ新しいエンターテインメントの街の誕生である。日比谷はきっと、東京のブロードウェイになる。



Hibiya Festival

日比谷の街をあげた観劇フェスティバルを開催

【期間】4月26日(木)～5月20日(日)
・オープニングセレモニー:4月26日(木)
・コア期間:4月27日(金)～5月6日(日)
・主なコンテンツ:オブジェ展示、日比谷ステップ広場での無料ステージ、野外ラウンジ、周辺施設イベントなど



上／アーティスト、ヤノベケンジ氏の代表作「Flora」。オリジナルステージでは宮本亜門氏の〝鹿鳴館に憧れる少女〟というイメージから、舞踏会の少女と日本神話のアメノウズメの要素を採り入れアレンジされる。下／「東京ミッドタウン日比谷」の3層吹き抜けのアトリウム。伝統的な劇場空間を思わせるデザイン。映画製作発表やイベントの会場としても使用される予定。

演出家
宮本亜門さん
1958年、東京・銀座生まれ。ミュージカル、オペラ、歌舞伎等、ジャンルを超える演出家として国内外で活躍。2018年3月、フランスのランス国立歌劇場にて、全関寺「(原作:三島由紀夫、作曲:黛敏郎)を演出し、2018年9月にはパリにて能×3Dを掛け合わせた「幽玄」を上演予定。

(Map&Guide)

日比谷で楽しむ エンターテインメント

「東京ミッドタウン日比谷」の4階には「TOHOシネマズ 日比谷」が誕生する。近隣のスカラ座・みゆき座も改装され、合わせて13スクリーン、約2800席。都内最大級の劇場空間を備えたシネマコンプレックスとなる。

日比谷が芸術文化の発信地となるきっかけは、1911（明治44）年に誕生した帝国劇場だ。オーケストラ・ピットを設けた日本初の西洋式劇場として、イタリア人音楽家を招き、オペラやバレエが上演された。大正時代には「今日は帝劇、明日は三越」という宣伝コピーが有名に。昭和に入り東京宝塚劇場をはじめ映画館も次々と開館。戦前には日比谷劇場街が完成した。

終戦後は宝塚劇場が一時GHQに接収されたが、演劇・映画は最大の娯楽として人々に愛されて、劇場街も復活。57年に芸術座が、63年には村野藤吾設計の日生劇場が完成する。66年には帝国劇場もリニューアル。翌年『屋根の上のヴァイオリン弾き』が上演されミュージカル・ブームを生んだ。

21世紀幕開けに新築のうえ開場した東京宝塚劇場。芸術座はシアタークリエとなって2007年にオープンし、若い女性をターゲットに日比谷に新風を吹き込んだ。現在、劇場4館で1年間の上演演目が40作を超える。

その歴史を継ぐ「東京ミッドタウン日比谷」の誕生を機に、観劇の祭典「ヒビヤ・フェスティバル」が開催される。4、5月に日比谷ステップ広場を中心に、演劇やダンス、ミュージカルなど多彩な演目により、街全体が劇場となる。日比谷を訪れる楽しみが深まりそうだ。

TOHOシネマズ 日比谷　スピルバーグとリュック・ベッソンの新作を公開！

3月公開予定

『ペンタゴン・ペーパーズ 最高機密文書』

ニクソン大統領 vs.ワシントンポスト。ベトナム戦争をめぐり報道の自由を守る闘いを、メリル・ストリープとトム・ハンクス主演で描く。アカデミー賞の呼び声高い、名匠スピルバーグの新作。

【上映日程】3月29日(木) 日比谷限定先行上映
【座席料金】一般　1,800円 ほか
【お問い合わせ】TOHOシネマズ 日比谷 ☎050-6868-5068
【営業時間】上映時間による
【住所】東京都千代田区有楽町1-1-2

『ヴァレリアン 千の惑星の救世主』

銀河をパトロールする美男美女、ヴァレリアンとローレリーヌが全宇宙の存亡を揺るがす陰謀に立ち向かう。コミックを原作に『グラン・ブルー』『レオン』などで知られる巨匠、リュック・ベッソンが贈る、息をのむ映像美のSF大作。

東京宝塚劇場

月組公演、伊吹有喜原作『カンパニー』舞台化！

ミュージカル・プレイ『カンパニー —努力(レッスン)、情熱(パッション)、そして仲間たち(カンパニー)—』

愛妻を亡くしたサラリーマンが、バレリーナとの淡い恋や新しい仲間との友情を支えに、困難を乗り越える姿を描く心温まる成長譚。

ショー・テント・タカラヅカ 『BADDY(バッディ)— 悪党(ヤツ)は月からやって来る—』

世界統一され、すべての悪が鎮圧された“地球”を侵略する、月から来た大悪党バッディと、万能の女捜査官グッディの攻防を描くショー。

【公演日程】3月30日(金)～5月6日(日)
【座席料金】SS席 12,000円／S席 8,800円／A席 5,500円／B席 3,500円
【お問い合わせ】宝塚歌劇インフォメーションセンター ☎0570-00-5100
【営業時間】10:00～18:00（月曜定休）
【住所】東京都千代田区有楽町1-1-3（東京宝塚ビル内）

帝国劇場

フランス革命と愛を描くロック・ミュージカル

『1789 バスティーユの恋人たち』

フランス革命に身を投じるロナンとマリー・アントワネットの侍女、オランプの恋。圧巻の迫力と叙情が溶け合うフレンチ・ロック・ミュージカル、待望の再演。

【公演日程】4月9日(月)～5月12日(土)
【座席料金】S席 13,500円／A席 9,000円／B席 4,000円
【お問い合わせ】東宝テレザーブ ☎03-3201-7777
【営業時間】09:30～17:30
【住所】東京都千代田区丸の内3-1-1

日生劇場

大竹しのぶ、風間杜夫共演のミュージカル・ラブ・コメディ

『リトル・ナイト・ミュージック』

20世紀初頭のスウェーデンを舞台に、さまざまな男女の愛の行方を描く。ブロードウェイの巨匠、ソンドハイムの最高傑作ミュージカル。

【公演日程】4月8日(日)～30日(月・振休)
【座席料金】S席 13,000円／A席 8,000円／B席 4,000円
【お問い合わせ】東宝テレザーブ ☎03-3201-7777
【営業時間】09:30～17:30
【住所】東京都千代田区有楽町1-1-1

シアタークリエ

竹中直人と生瀬勝久、超個性派俳優が激突する

『火星の二人』

大事故から奇跡的に生きのびた男ふたりの因縁と生のドラマ。絶妙なセリフの応酬で個性派俳優が火花を散らす。ヒロインは上白石萌音。

【公演日程】4月10日(火)～25日(水)
【座席料金】全席 9,000円
【お問い合わせ】東宝テレザーブ ☎03-3201-7777
【営業時間】09:30～17:30
【住所】東京都千代田区有楽町1-2-1

SPECIAL INTERVIEW

佐藤 卓

SATOH TAKU

デザイン&アートを発信する六本木

六本木はこれからの都市の歩むべき姿を示唆している

街づくりのコンセプトにデザイン&アートを掲げる「東京ミッドタウン」。その中核的な発信拠点のひとつが「21_21 DESIGN SIGHT」だ。佐藤卓さんは、三宅一生、深澤直人両氏とともに、ディレクターを務めている。

『デザイン家電』など、デザインが何か特別のことのように思われています。しかし人の営みのなかには無数のデザインがある。そのことを示したいと思っていました」

佐藤さんがデザインの可能性を改めて感じたと語るのが、自らディレクターを務めた「水の展覧会」だ。

「牛丼一杯に2000リットルの水が使われていると聞いたとき、水について何も知らないことに気付きました。そもそも水が凍らず蒸発もせず液体で存在するのは、奇跡的な出来事なのです。それが生命を支えている。水とは何であり、人とどう関係しているのか、それを従来の学問の枠にとらわれずに探っていこうと。つまり水と人がどのようにデザインされているかを考えるということです。それが水の展覧会になりました。デザインという切り口を持てば、あらゆる物事と人との関係性を見直すことができると感じました」

21_21と並ぶ拠点として設けられた「東京ミッドタウン・デザインハブ」も、展覧会やワークショップを展開。佐藤さんが理事を務める日本デザイン振興会や、副会長の日本グラフィックデザイナー協会はここに本部を置く。またサントリー美術館も東京ミッドタウンの開業とともに赤坂から移転し、「生活の中の美」を発信しつづけている。

若い頃から六本木を見てきた佐藤さんはそんな変化を肌で感じるという。「手前味噌になりますが、デザインやアートを楽しむ大人の街になったと思います。一方で新しいビジネスも生まれ、六本木は、デザイン&アートとビジネスが複合的に営まれることで発展してきました。経済だけが牽引する社会は豊かにならないと、もうわかってきています。その意味で、六本木はこれからの都市の歩むべき道を示唆しているといえるのではないでしょうか」

六本木がどのように成熟していくのか、世界が注目している。

Photo: Masaya Yoshimura

上／東京ミッドタウン・デザインハブで毎年開催する『グラフィックデザイン』展（写真は2017年）。佐藤さんはじめ、グラフィックデザイナーの優れた仕事が一堂に会する。右／21_21_DESIGN SIGHTの企画展『water』。水のさまざまな側面を可視化した。

グラフィックデザイナー
佐藤卓さん

東京生まれ。1984年、佐藤卓デザイン事務所設立。「ロッテ キシリトールガム」「明治おいしい牛乳」等の商品デザインを担当。NHK Eテレ『にほんごであそぼ』アートディレクターおよび「デザインあ」総合指導。著書に『デザインの解剖』シリーズ（美術出版社）、『塑する思考』（新潮社）、『大量生産品のデザイン論』（PHP新書）などがある。

【Map&Guide】

六本木で感じるデザインとアート

六本木は、いまは美術館やギャラリーが数多く集まる六本木だが、その歴史をさかのぼれば……。

「東京ミッドタウン」は、防衛庁が市ヶ谷に移転した、その跡地に建てられた。江戸時代は毛利家の下屋敷だった場所で、明治には陸軍駐屯地。終戦後は米軍将校の宿舎に使われた。

周囲に各国の大使館がある六本木は、外国人が訪れる繁華街となった。1959年にはテレビ局も開局し、人気店には芸能界の人々も多かった。六本木族と呼ばれた若者も集まり、東京でも最先端の流行発信地となった。

六本木がデザインの街と呼ばれるきっかけのひとつが、81年に完成した「AXISビル」。最新のデザインの雑貨や家具が紹介され、倉俣史朗やソットサスなど内外の著名なデザイナーが注目された。2年後の音楽と映像の専門店「六本木WAVE」も画期的だった。

その後、2003年に森美術館を擁する六本木ヒルズ、07年1月に国立新美術館が開館。3月には「東京ミッドタウン」が誕生した。

ガレリアには、赤坂にあったサントリー美術館が移転。また時を同じくして、'21_21 DESIGN SIGHT'、東京ミッドタウン・デザインハブ、フジフイルムスクエアもつくられた。

近年は一夜限りのアートの饗宴「六本木アートナイト」も盛況で、話題の展覧会も数多く開催されている。海外からのゲストも飛躍的に増えており、六本木は「アートとデザインの街」として世界に知られる存在となった。

21_21 DESIGN SIGHT

21世紀の都市と人を見つめる、写真の可能性

1

『写真都市展
—ウィリアム・クラインと
22世紀を生きる写真家たち—』

【期間】～6月10日（日）
【時間】10:00～19:00
※入館は閉館の30分前まで
【休館】火曜 ※5月1日（火）は開館
【料金】一般1,100円ほか
【会場】ミッドタウン・ガーデン内
ギャラリー1＆2 ☎03-3475-2121

ジャンルを超えた表現と、世界の都市を捉えた作品で現代の視覚文化に影響を与えた写真家ウィリアム・クライン。彼の写真を出発点に、日本とアジアの若いアーティストたちの試みを俯瞰する。左／ウィリアム・クライン「Wings of the Hawk, New York 1955」右／朴ミナ「ブルーの形態」

Tokyo Midtown Design Hub

2

人と人とをつなぐマスキングテープ

障害のあるアーティストの原画をJAGDA会員がデザインしたマスキングテープを展示・販売する。

『東京ミッドタウン・デザインハブ第72回企画展
JAGDA つながりの展覧会Part1
マスキングテープ』

【期間】～4月22日（日）
【時間】11:00～19:00
【休館】会期中無休【料金】無料
【会場】ミッドタウン・タワー5F ☎03-6743-3776
【問い合わせ】☎03-5770-7509（日本グラフィックデザイナー協会・JAGDA）

サントリー美術館

3

中国ガラス最盛期の美を集めて

紀元前5～前3世紀に始まる中国ガラスの製造技術が飛躍的に発達するのは、清王朝の時代。重厚な彫琢の美しさに、エミール・ガレも影響を受けたという。写真／「藍色鉢 清時代・おそらく雍正年間（1722～35）中国 サントリー美術館蔵

『ガレも愛した—清朝皇帝のガラス』

【期間】4月25日（水）～7月1日（日）
【時間】10:00～18:00
※金・土および4月29日（日・祝）、5月2日（水）、3日（木・祝）は20時まで開館。5月26日（土）は六本木アートナイトのため24時まで開館。
※いずれも入館は閉館の30分前まで
【休館】火曜

※5月1日（火）、6月26日（火）は18時まで開館）※ショップ・カフェは会期中無休
【入館料】一般1,300円ほか。
【会場】ガレリア3F
☎03-3479-8600

FUJIFILM SQUARE

写真に写し込んだ「昭和」という時代

太宰治の写真で知られる林忠彦の作品展。戦後の東京と、茶室の写真など約25点。写真：「太宰治 酒場ルパンで、銀座」1946（昭和21）年©林忠彦作品研究室

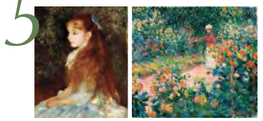
『昭和が生んだ写真・怪物
時代を語る林忠彦の仕事』

【期間】第1部4月1日（日）～5月31日（木）
第2部6月1日（金）～7月31日（火）の2部構成
【時間】10:00～19:00※入場は閉館の10分前まで
【休館】会期中無休 【料金】無料
【会場】FUJIFILM SQUARE写真歴史博物館
ミッドタウン・ウェスト1F ☎03-6271-3350

4

国立新美術館

5



日本初公開の名画も多数！

実業家、ピュールレがコレクションした名だたる名画が一堂に。左／ピエール＝オーギュスト・ルノワール「イレーヌ・カーン・ダンヴェール嬢（可愛いイレーヌ）」右／クロード・モネ「ジヴェルニーのモネの庭」

『至上の印象派展
ビュールレ・コレクション』

【期間】～5月7日（月）
【時間】10:00～18:00
※毎週金・土曜日、4月28日（土）～5月6日（日）は20時まで開館。
※いずれも入場は閉館の30分前まで
【休館】火曜（5月1日は開館）
【料金】一般1,600円ほか
【会場】国立新美術館 企画展示室1E
東京都港区六本木7-22-2
☎03-5777-8600（ハローダイヤル）

2点とも ©Foundation E.G. Bührle Collection, Zurich (Switzerland)
Photo: SIK-ISEA, Zurich (J.-P. Kuhn)

「東京ミッドタウン日比谷」だから過ごせる「大人」たちの特別な1日

PM 12:30

HIBIYA CENTRAL MARKET

アートから居酒屋までユニークな市場が出現

クリエイティブディレクターの南貴之さんが有隣堂とプロデュースする「ヒビヤ セントラル マーケット」。本や雑貨、アパレルに加え、理容店や眼鏡店、飲食店も並ぶ237坪の小さな街だ。

Shop Data
東京ミッドタウン日比谷3F
11:00～21:00
飲食11:00～23:00（L.O.22:30）
※電話番号は店舗によって異なるため、オフィシャルサイトをご覧ください。
www.hibiya.tokyo-midtown.com/

ピエール・ポランの貴重な黒革張りラウンジチェア1,080,000円。

PM 03:00

TATRAS & STRADA EST

タトラスの旗艦店とセレクトショップが一体に

ダウンジャケットで人気の高いイタリアンブランド「タトラス」と、ハイファッションを提案する「ストラダ エスト」。メンズもレディースも充実し、ゆっくりショッピングを楽しみたい。

Shop Data
東京ミッドタウン日比谷2F
☎03-6273-3400
11:00～21:00

左下／タトラスのレディース・トレンチコート90,720円。下／タトラスのメンズ・マウンテンパーカ73,440円。

AM 11:00

LEXUS MEETS...

レクサスのラグジュアリーな世界を体験する

レクサスのあるラグジュアリーなライフスタイルが、初めての人も気軽に体感できる「LEXUS MEETS...」。ライフスタイル雑貨のブティック「STEER AND RING」やカフェ「THE SPINDLE」が車両展示と一体になったお洒落な店内。レクサス全車種の試乗も体験できる。

Shop Data
東京ミッドタウン日比谷1F
ブティック
☎03-6205-7715　11:00～21:00
カフェ
☎03-6273-3225
月～土 11:00～23:00（L.O. 22:30）
日、祝　11:00～22:00（L.O. 21:30）

地下1階から地上7階までの空間に、「THE PREMIUM TIME, HIBIYA」をコンセプトとした60店舗が並ぶ東京ミッドタウン日比谷の商業ゾーン。

3層吹抜けのアトリウムの1階にある「LEXUS MEETS...」は、車の展示だけではなく、ライフスタイル雑貨やカフェをとおしてレクサスのトータルな世界観を体現する施設。

2階はファッションブティックも充実。なかでも「タトラス & ストラダ エスト」はメンズ、レディースともに見逃せない。3階の「ヒビヤ セントラル マーケット」は眼鏡、本、ヴィンテージ家具、雑貨とさまざまな品が並ぶ。居酒屋も理容店もあり、懐かしい昭和を彷彿とさせるマーケットだ。

4階には映画の宮殿を実現した極上の映画館「TOHOシネマズ 日比谷」。

アフターシアターの華やいだ気分にふさわしいレストランも充実。高田賢三の専属料理人を務めた中山豊光の「レストラントヨ」でディナーを。そして最後は、高音質の音楽空間で食事とお酒を楽しめる「ビルボード カフェ &ダイニング」で一日の余韻に浸ってみたい。

PM 04:00

TOHOシネマズ 日比谷

東京屈指の日比谷映画街が生まれ変わる

これまでの劇場にはない極上の空間を誇るのが「TOHOシネマズ 日比谷」。日比谷公園を一望する開放的なロビーから、都会の喧騒を離れた映画の宮殿へ。革張りシートに身を沈め、大画面と最高の音響でロードショーを満喫できる。隣の宝塚ビルの2階と合わせ13スクリーン、約2800席の映画館。

Data
東京ミッドタウン日比谷4F
☎050-6868-5068

PM 07:00

RESTAURANT TOYO

高田賢三氏の元専属料理人 中山豊光の新フレンチ

カウンタースタイルのフレンチはパリで活躍する中山豊光オーナーシェフの日本初出店。懐石料理のように素材を吟味した料理をひと皿ずつ供するフレンチは、まさに日仏文化の融合。日比谷店の大森雄哉シェフと交わす会話もごちそうに。

サクラマスのコンフィ。紅芯大根のソースとイクラ、黄色トマト、ハーブと花を添えて。

Shop Data
東京ミッドタウン日比谷3F
☎03-6273-3340
11:30～14:30
（L.O.13:30）
17:30～23:00
（L.O.21:30）
※日曜L.O.21:00
※営業時間は変更の可能性あり。

PM 09:30

Billboard cafe & dining

音楽と食事が楽しめる新スタイル・レストラン

音楽を楽しむ「ビルボードカフェ＆ダイニング」の1号店。最新オーディオが揃う高音質の空間で、食事やお酒が楽しめる。個室では、食事とともにBGMも選べる。アコースティックライブやトークイベントも開催。

Shop Data
東京ミッドタウン日比谷3F
☎03-6273-3355
11:00～23:00
（L.O.22:30）

※P18-29 掲載の「東京ミッドタウン日比谷」店舗の電話番号は、3月27日（火）より開通となります。

Photo: Masaya Yoshimura

PM 04:30

21_21 DESIGN SIGHT「ギャラリー3」

日常に潜む「デザイン」に光を当てる

デザインと社会の関わりについて問いかける。館長は佐藤卓さん。地上階にある「ギャラリー3」は、開館10周年を機に誕生したオープンスペース。2017年の国立新美術館の企画と連動した「安藤忠雄　21_21の現場　悪戦苦闘」が好評だった。

Data
東京ミッドタウン
ミッドタウン・ガーデン
☎03-3475-2121
http://www.2121designsight.jp/
※「ギャラリー3」では4月8日(日)まで「thinking tools. プロセスとしてのデザイン― モダンデザインのペンの誕生」を開催中。

PM 06:00

ザ・リッツ・カールトン東京「タワーズ」

リニューアルした45階で、味と眺望を楽しむ

この3月、生まれ変わったばかりの45階。東京タワーとスカイツリーが一望できるコンテンポラリーグリル「タワーズ」では、新鮮な食材をグリルで供する。ワールドワイドな銘醸ワインのセレクションも魅力。記念日などの特別な日にも最適。

上／「ブルーロブスター ナヴァラン ローズマリーの香り」8,570円　下／「軽くスモークした季節の鮮魚 蕪と西洋わさびのピュレ、キウイソース」4,347円。ともにディナーのアラカルトとして。

Shop Data
東京ミッドタウン
ミッドタウン・タワー45F
☎03-6434-8711(10:00～21:00)
ランチ（平日）11:30～L.O.14:30
ブランチ（土・日・祝）
11:00～L.O.14:30
ディナー 17:30～L.O.22:00

PM 03:30

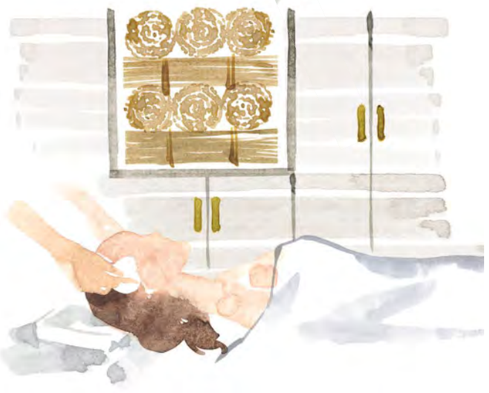
Ron Herman

カリフォルニアの自由な空気をまとって

上質なカジュアルウエアから、カラフルなグラスやクッションなどのインテリア雑貨まで。カリフォルニアの伸びやかな空気を感じさせるスペシャリティストア。ショッピングに疲れたら、併設のカフェでコーヒーと軽食でひと休み。

Shop Data
東京ミッドタウン
ガーデンテラスB1
☎03-6447-0561
11:00～21:00

ストール（113×248cm）16,200円（コミュニティ マーファ）・ターコイズのバングル55,080円・ピアス132,840円(ロンハーマン ジュエリー)



肌の状態によって組み立てる「ビスポークン フェイシャル トリートメント」。ジェイド（翡翠）のハートストーンを使って施術。100分／23,760円
右ページのボックス／施術に使うライフクレンジングバーム（100ml）14,040円・エイジングケアのためのリストアエッセンス（15ml）16,200円

AM 11:00

サントリー美術館

「生活の中の美」をテーマにした美術館

1961年に開館した「サントリー美術館」。東京ミッドタウン開業とともに、隈研吾さんの設計で六本木に再オープン。ヨーロッパガラス、薩摩切子、エミール・ガレなどのガラス作品の所蔵品も秀逸。美術館6階には茶室「玄鳥庵」があり、会期中の指定日には点茶席も設けられる。

Data
東京ミッドタウン ガレリア3F
☎03-3479-8600
http://suntory.jp/SMA/
※4月8日（日）まで「寛永の雅 江戸の宮廷文化と遠州・仁清・探幽」を開催中。

PM 01:30

bamford

英国コッツウォルズ発、癒やしのヘイバーンスパ

スパでは特別に開発されたオーガニック植物原料の製品を使い、英国と同じメニューで心と体のバランスを整える。ショップには、スキンケアやバス＆ボディコレクションのほか、ホームフレグランスコレクションも。

Shop Data
東京ミッドタウン ガレリア2F
ショップ ☎03-5413-4250
スパ ☎03-5413-4256(要予約)
11:00～21:00

AM 10:00

Le Pain Quotidien

ヘルシー＆ナチュラルな体思いの朝食でスタート

世界で約250店舗を展開する、ベルギーのベーカリーレストラン。“日々の糧”を意味する店名のとおり、オーガニック小麦など素材にもこだわりが。およそ10種類から選べるブレックファーストの豊富さもうれしい。

オーガニックライ麦のパンとバゲットが付いた「スモークサーモンブレックファースト」1,440円。オーガニックオレンジジュースと、コーヒーまたは紅茶付き。「グラノラパフェ」1,240円。

Shop Data
東京ミッドタウン プラザ1F
☎03-6804-5879
07:30～23:00
(L.O.モーニング10:45、
ランチ15:00、ディナー22:00)

「東京ミッドタウン」で都心の上質な日常を体験する

「都心の上質な日常」をコンセプトに、約130店舗が集まる東京ミッドタウンの商業ゾーン。食事やショッピングを楽しみながら、ガーデンで四季を感じたり、デザインやアートの展覧会に感性を刺激される。

ある日の始まりは、「ル・パン・コティディアン」から。ヘルシーな朝食でお腹を満たしてから、中国のガラスの展覧会を鑑賞しに「サントリー美術館」へ。海外からの特別出品を含めた充実の所蔵品を堪能する。

美の余韻に浸りながら、ガレリア2階「バンフォード」へ向かう。ジェイド（翡翠）を用いたトリートメントは、深いリラックスへと誘ってくれる。100分間の施術を終えたあとは「ロンハーマン」で春の小物をチェック。明るい色遣いに、気分まで軽やかになる。

「21_21 DESIGN SIGHT」はガーデンの豊かな緑の中に。自然の中でデザインに触れる格別な時間を手に入れたい。

締めくくりはザ・リッツ・カールトン東京のモダンビストロ「タワーズ」。地上200mからの東京の景色が、食事の時間を贅沢に彩ってくれる。

STRASBURGO

ヨーロッパのブランドから日本人デザイナーのものまで厳選されたアイテムが揃うセレクトストア。ストラスブルゴの別注品や日本初上陸ブランドもあり、目が離せない。この店で最新トレンドをいち早くキャッチしたい。

Shop Data
東京ミッドタウン ガレリア1F
☎03-3403-0777
11:00～21:00

ふわりと風をはらむケープのような形のシャツはストラスブルゴの別注品。42,120円（SUPPORT SURFACE）、クロップト丈のデニムパンツ34,560円（MOTHER）、ストラスブルゴ別注のファブリックを使用したインナーバッグ付きカゴバッグ34,560円（VITARASGEDVILAS）、パンプス70,200円（NINA RICCI）／STRASBURGO

GOLDEN GOOSE DELUXE BRAND

ヴェネツィアの2人のデザイナーが創業した「ゴールデン グース デラックス ブランド」。今でも全工程をヴェネツィアの工房で行う。ウエアから革製品まで、エッジの効いたデザインが人気。東京ミッドタウン限定品は要チェック。

メッシュのバッグとシューズはともに東京ミッドタウン限定。バッグ216,000円・ショートブーツ95,040円（Lady's）、バックプリントTシャツ27,000円・ブランドのアイコンにもなっているヴィンテージライクなスニーカー72,360円（Men's）／GOLDEN GOOSE DELUXE BRAND

Shop Data
東京ミッドタウン ガレリア1F
☎03-3408-6705
11:00～21:00

ISETAN SALONE

モードな街、「六本木」を牽引する個性派ショップ

デザインとアートの街として進化しつづける六本木。
そんな場所にふさわしい最旬アイテム。

東京ミッドタウンに2015年に誕生した「イセタンサローネ」。ゆったりとした空間は、現代美術家・杉本博司さん、建築家・榊田倫之さんの新素材研究所によるもの。リアルクローズから、一歩先行くモードにまで出合える。

リボンでウエストをマークした軽やかなホワイトトップス25,920円・オレンジのレースを斜めにあしらったラップスカート51,840円（TARO HORIUCHI）、エキゾティックなプリントが印象的なグリーンのワンピース70,200円（AKIRA NAKA）／ISETAN SALONE

Shop Data
東京ミッドタウン ガレリア1F
☎03-6434-7975
11:00～21:00

Halo H.P.FRANCE BIJOUX

ヨーロッパを中心にジュエリーをセレクトするH.P.FRANCE BIJOUXが新提案するショップ。ヴィンテージジュエリーを充実させつつ、ヴィクトリア朝のヴィンテージチャームを使ったアニーナ・ヴォーゲルの作品を本格的に扱う。

Shop Data
東京ミッドタウン日比谷1F
☎03-6550-8952
11:00～21:00

ヴィンテージチャームをつけたネックレス375,840円・フォックスモチーフのリング421,200円（ANNINA VOGEL）、バングル124,200円・パールリング145,800円・バックルモチーフのリング92,880円・パールイヤリング54,000円（VINTAGE JEWELRY）、パールブレスレット75,600円（VINTAGE JEWELRY H.P.FRANCE BIJOUX）／Halo H.P.FRANCE BIJOUX

A.P.C.

パリでのブランド誕生から30年。銀座エリア旗艦店としてメンズ、レディースともにクリーンで洗練された空間に。機能的でユニセックス、フレンチシックなテイストをベースに、着る人の個性を引き出すシンプルなデザインが人気。

日比谷限定色のレッドのバレエシューズ29,160円・ボーダーTシャツ14,040円・ハーフムーンバッグ59,400円／A.P.C.

Shop Data
東京ミッドタウン日比谷2F
☎03-6273-3535
11:00～21:00

「日比谷」から発信する高感度ファッション

華やかな歴史と豊かな緑に包まれた日比谷の地。
新たな街からスタートする話題のショップ&ブランド。

デザイナー、本間正章による人気ブランド。独特のデザイン感覚と、日本の高い技術を惜しげなく注いだクオリティに世界が注目。「マスターマインド・ジャパン」「マスターマインド・ワールド」の世界初のフラッグシップストア。

ブランドアイコンのスカルを背中にあしらったフーデッドネルシャツ140,400円・レイヤーTシャツ64,260円／MASTERMIND TOKYO（mastermind JAPAN）

Shop Data
東京ミッドタウン日比谷2F
☎03-6257-1018
11:00～21:00

MASTERMIND TOKYO

STYLE MEETS PEOPLE

上質なくつろぎを約束する「スタイル ミーツ ピープル」のラインナップ。この春紹介するのは、陶芸家・斉藤友美恵の作品。独自につくった釉薬で焼き上げた多彩な桜色が特徴。若手ガラス作家・光井威善の吹きガラスは、フロストの質感と美しい色に引き込まれる。

左から／斉藤友美恵作品11,880円・10,800円、光井威善作品 各43,200円／STYLE MEETS PEOPLE

Shop Data
東京ミッドタウン ガレリア3F
☎03-5413-3705
11:00～21:00

「ここでだけ」という特別な出合いを求めて

東京ミッドタウンにしかないショップが
日本各地そして世界の逸品を厳選し、
「六本木」から豊かな暮らしを提案する。

THE COVER NIPPON

日本の風土と匠の技が生んだ衣食住に着目し、世界に誇れる日本ブランドを発掘している。今回提案するのは金沢漆器の小ぶりな重箱。ちょっとした料理もこの重箱に詰めるだけで「おもてなし顔」に。微発泡の日本酒とシャンパングラスを携えて、春のピクニックへ。

三段重（小）（12×12×H12cm）3,240円・三段重（大）（15×15×H15cm）4,320円（Kazeya-style）、ステムに螺旋を巻いたシャンパングラス各9,720円（エリカ）、宮城県の蔵元、一ノ蔵の清酒（発泡性）“すず音”（375ml）1,080円／THE COVER NIPPON

Shop Data
東京ミッドタウン ガレリア3F
☎03-5413-0658
11:00～21:00

HARMAN Store

JBL、AKGやharman/kardonなど、世界的なオーディオの名ブランドを扱うハーマンインターナショナルの直営店。最新の機器情報に触れるならここへ。特別試聴室を予約すれば、プレミアムなオーディオシステムを体験できる。お気に入りのＣＤ持参で訪れてみては。

Bluetoothスピーカーシステム「AURA STUDIO2」。ドーム中央のLEDリングが音で光る。機能性とデザイン性、遊び心を備えた“スピーカーを超えたスピーカー”。33,350円(harman/kardon)／HARMAN Store

Shop Data
東京ミッドタウン ガレリア3F
☎03-5413-8150
11:00～21:00

Tempo Hibiya

ポルトガルをはじめ、南欧からの華やかで個性的なテキスタイルを使ったインテリア小物を扱う。ラグやクッションのほか、ワインや紅茶など、輸入食材も充実。オリジナル商品や、バイヤーが見つけた一点ものにも注目。

変形ラグ「STONE」（約70×120cm）37,800円（ABYSS & HABIDECOR）、ベアドール各6,264円・千鳥格子クッションカバー5,184円・手前のファブリックボード6,264円（Charme & Voyage）、スリッパ各4,104円(THE ENTRANCE TAILOR TOKYO)、紅茶4,320円（BASILUR）、100ドルプリントのクッション5,400円（WOOUF! BARCELONA）／Tempo Hibiya

Shop Data
東京ミッドタウン日比谷3F
☎03-6206-1152
11:00～21:00

イセタン ミラー メイク＆コスメティクス

ラグジュアリーコスメのセレクトストア。扱うブランド数、店舗面積とも、ここ日比谷店が最大。天然原料にこだわる「COWSHED（カウシェッド）」のボディオイルは日比谷店限定。待望の「トム フォードビューティ」はイセタンミラーでは日比谷店に初お目見え。

左から／日比谷店限定の「カウシェッド」のバス＆ボディオイル。（30ml）各2,160円（COWSHED）・「トム フォード ボーイズ＆ガールズ」のリップ。各3,996円(TOM FORD BEAUTY)／イセタン ミラー メイク＆コスメティクス

Shop Data
東京ミッドタウン日比谷 1F
☎03-6812-7157
11:00～21:00

「日比谷」から始まる新しい生活提案

ひとつ、そこにオブジェを置いただけで
空間の表情が変わる。そんなマジックを
呼び込むライフスタイルショップ。

YELLOWKORNER

「アートフォトをもっと身近に」というコンセプトのもと、パリ生まれの「イエローコーナー」初の直営店舗。若手から著名作家まで、1500点以上の作品を、9つのカテゴリーに分けて、5種類のサイズで展開。日本の生活空間での選びやすさを重視している。

左／宇禄拓哉（うろくたくや）「PSYCHE PORTRAIT 2」（50×40cm）10,692 円、 右 ／ Bernhard Hartmann「TEATRO LA FENICE STAGE」（40×50cm）12,852円／YELLOWKORNER

Shop Data
東京ミッドタウン日比谷 3F
☎03-6273-3403
11:00～21:00

「日比谷」で出合う選りすぐりの美食体験

地下鉄に直結するアーケードにはNYスタイルのフードコート、
日比谷公園の緑が見える3階には屈指の名店が顔を揃える。

東京ミッドタウン日比谷に、京都からやってくるのが、400年以上の歴史を育む老舗、「瓢亭」だ。京都では茶室もある数寄屋造の部屋で、苔むした庭を愛でながら茶事や懐石料理を楽しむが、日比谷では初めてのカウンター席を用意する。

「お客様との距離が近いカウンターの良さを生かして、勢いのある料理を工夫しようと思います」と十五代目の高橋義弘さん。たとえば、「ぐじ」を料理するなら、炙(あぶ)って香りを引き立てつつ、身はしっとりしたままの煮物椀を提供したい。

瓢亭といえば、父英一さんによる鮪節でひいたうまみのふくよかな出汁が名高いが、日比谷では関東のお客様にも親しんでいただくために、新しい配合の出汁も取り入れる予定だ。

瓢亭の代名詞でもある、とろりと絶妙な半熟加減の瓢亭玉子は八寸の中に組み入れ、評判の「朝がゆ」が楽しめる昼の点心にも力を入れる。

日比谷公園の緑を眺めながら、カウンターでいただく老舗の懐石料理。

「京都は敷居が高くて、と思っていらした若い世代にも来ていただけたら」と、新天地での新たな出会いを、誰よりも義弘さん自身が楽しみにしている。

南禅寺 瓢亭 15代目
高橋義弘さん

1974年生まれ。大学時代は東京で過ごす。金沢の割烹「つる幸」で修業後、父英一氏のもとで研鑽を積む。2015年、15代目就任。

“京都・老舗の味をカウンターで楽しむ”

南禅寺 瓢亭

懐石料理の花である椀物から、「ぐじの油焼き若竹椀」。ぐじのふっくらとした味わいと若竹の香りも芳しい春らしい一品。昼／点心8,316円、懐石料理14,256円。夜／懐石料理21,384円、27,324円。茶室使用は個室料あり。

Shop Data
東京ミッドタウン日比谷 3F
☎03-6811-2303
12:00～15:00(L.O.13:30)
17:30～22:30(L.O.20:30)
※営業時間は変更の可能性あり。

HIBIYA FOOD HALL

NYをイメージした空間に「ブルックリン シティ グリル」「ボストン オイスター&クラブ」「ミスターファーマー」「日比谷焙煎珈琲」など8つの専門店が集まるフードホール。写真は「スーザンズ ミートボール」の名物料理。このミートボールが味わえる「ミートボール ボックス」は1,134円。

Shop Data
東京ミッドタウン日比谷 B1
Susan's MEAT BALL
(HIBIYA FOOD HALL内)
☎03-3519-7311
11:00～23:00(L.O.22:00)

“ニューヨーク・テイストの話題の8店舗が集結”

SALONE TOKYO

10周年を迎えた横浜の本店をはじめ、東京や大阪など5店舗を展開するサローネグループによる新たな旗艦店。本国での経験豊かな永島義国さんと高見博史さんの2人のシェフが、伝統を大切にした味わいを現代的に表現する。コースは昼7,128円と8,910円、夜17,820円。

Shop Data
東京ミッドタウン日比谷 3F
☎03-6257-3017
12:00～15:00(13:00最終入店)
18:00～22:30(20:00最終入店)
※営業時間は変更の可能性あり。

“ダブルシェフによる骨太なイタリア料理”

「六本木」の緑も楽しむガーデンテラスの3店

ミッドタウン・ガーデンに向かって張り出すガーデンテラスは、
気持ちのいい特等席。ここでしか味わえない美味を求めて。

2017年3月にオープンしたこちらは、フランス料理界における「グランド・キュイジーヌの大いなる希望の星」と称され、今最も注目を集めるシェフの一人、フィリップ・ミルさんによる日本初出店のレストラン。初めて自身の名を冠した唯一のレストランという点からも、思い入れの深さがうかがえる。

運ばれてきた瞬間、思わずうっとりと見入ってしまう料理は、まるで絵画のような美しさ。現代的な盛り付けでゲストを魅了するが、伝統的な技術やセオリーを忠実に守ることで、しっかりと味わい深い仕立てに。定期的に来日するほか、日頃から藤田博和料理長と密にやり取りを重ねることで、日本の食材や日本人の嗜好を理解したうえでメニューを考案している。

また、シャンパーニュとのマリアージュをコンセプトのひとつに、有名メゾンから小規模な造り手まで常時100銘柄をラインナップ。プレステージ・シャンパーニュをバイ・ザ・グラスで用意しているのもうれしい限り。コース料理の最初から最後まで、すべてシャンパーニュをペアリングするセット（3杯5346円～、4杯7128円～）を楽しみに訪れるゲストも多い。

総料理長
フィリップ・ミルさん

シャンパーニュ地方の二つ星「レ・クレイエール」の総料理長。わずか38歳でフランスの国家最優秀職人章（M.O.F.）を受章。

“シャンパーニュに合う優雅で緻密な味わい”

六本木テラス フィリップ・ミル

グリーンピースを主役にした春の新作。「コライユをまとった手長海老とプティポワ ピンクグレープとミントのアクセント」。14,256円からのディナーコースにて提供。ソムリエがおすすめするシャンパーニュは「Jeaunaux Robin "Le Talus de Saint Prix" Extra Brut」。

Shop Data
東京ミッドタウン
ガーデンテラス4F
☎03-5413-3282
11:00～15:30(L.O.14:00)
17:30～23:00(L.O.21:00)

SILIN 火龍園

重厚感ある個室や眺めのいい窓際の席などさまざまなシチュエーションに重宝する一店。唐朱興シェフが腕を振るう料理は、伝統を重んじながらも現代のテイストを取り入れている。鶏油をかけることでしっとりとした食感に仕上げた「のどぐろの姿蒸し 香港スタイル」9,288円。

Shop Data
東京ミッドタウン ガーデンテラス 2F
☎03-5413-0088
月～金11:00～15:00(L.O.14:30)、
17:00～24:00(L.O.22:00)
土・日・祝11:00～16:00(L.O.15:00)、
17:00～24:00(L.O.22:00)
第1・3火曜休(4月の第1火曜、12月の第1・3火曜は営業)

“豪快と繊細が共存するモダンな広東料理”

“季節の訪れを伝える素材を尊重した新和食”

HAL YAMASHITA 東京

食材の魅力を最大限に引き出すことを信条とする山下春幸シェフ。生まれ育った神戸の神戸牛をはじめ、自ら足を運ぶ和歌山の契約農家の野菜などを多彩に盛り込む。「桜鯛の炭火焼き 春キャベツ包みオマール海老と浅利のビスクソース 香り野菜添え」。16,394円のコースで楽しめる。

Shop Data
東京ミッドタウン ガーデンテラス 1F
☎03-5413-0086
ランチ 11:00～13:00、13:15～15:00の2部制
ディナー 17:30～24:00(L.O.23:00)
月曜休(祝日の場合は翌火曜休)

DEAN & DELUCA

ニューヨーク発、日本上陸15周年を迎えた食のセレクトショップ。世界中の美味しいものが集まる。雲のような口どけのマシュマロは、バンクーバーの人気ベーカリー「バターベイクドグッズ」から。フレーバーはトーステッドココナッツやストロベリーなど全5種。125g 各1,512円。

Shop Data
東京ミッドタウン ガレリアB1
☎03-5413-3580
11:00～21:00

とらや

大きな暖簾が目印。5世紀にわたり愛され続ける老舗。ギャラリーと菓寮を併設し、日本文化を発信する。希少な白小豆でつくった白餡に塩漬けの桜の花弁を合わせた餡や桜の葉を入れた寒天など、随所に春を感じる季節限定メニューをぜひ。「桜あんみつ」1,512円（3月1日～4月上旬）。御膳餡入の「多胡の浦」486円（4月16日～30日）、白餡黒胡麻入の「なすび餅」486円（5月16日～31日）。

Shop Data
東京ミッドタウン ガレリアB1
☎03-5413-3541
11:00～21:00(L.O.喫茶20:30)

大切な方への贈り物から喜ばれる手土産まで

心に残る贈り物や、改まったシーンにもふさわしい
お使いものを探すなら、東京ミッドタウンのガレリアB1をひとめぐり。

JEAN-PAUL HÉVIN

30周年を迎えたショコラティエの第一人者、ジャン＝ポール・エヴァンさんのショコラブティック。カカオの美味しさをより実感できるタブレット「エクアトゥル」「81%」「カリオカ」各756円（写真はイメージ。実際はハーフサイズ）。春に向けたボンボン ショコラ「ネオ」「トロワ オランジュ」「カリュバナ」各340円。

Shop Data
東京ミッドタウン ガレリアB1
☎03-5413-3676
11:00～21:00(L.O.フード19:00、ドリンク20:30)

pâtisserie Sadaharu AOKI paris

パリに本店を構え、世界中で注目を浴びるパティシエ・青木定治さんによるブティック。3年間の歳月をかけて誕生したマカロンは、スペイン産アーモンドを使用した香ばしい生地となめらかなクリームが絶妙の代表作。ヴァニユ、ピスターシュ、フレーズ、シトロン、アールグレイ、キャラメルサレ、マッチャなど異なる12種類を詰め合わせて。「マカロン 12P」4,200円。

Shop Data
東京ミッドタウン ガレリアB1
☎03-5413-7112
11:00～21:00
(L.O.カフェ20:15)

boulangerie Bonheur

フランスの老舗「ポワラーヌ」で研鑽を積んだ初代シェフが、本場の味を届けたいという思いから誕生した三軒茶屋に本店を構える人気店。「ショコラブレッド」702円、「クロワッサン」1個216円、「しあわせなカレーパン」1個291円。

Shop Data
東京ミッドタウン日比谷 B1
☎03-6257-1006
08:00～21:00

REVIVE KITCHEN THREE

ナチュラルなスキンケアとモードなメイクが人気のコスメブランド「THREE」が提案する新たな店舗。ショップ、デリカテッセンに加え、“MODERN SHOJIN”をコンセプトに掲げたレストランで構成する。野菜を主軸にしたメニューで、体の内側からも健やかな暮らしに寄り添う。ランチ1,404円～、コース5,184円など。

Shop Data
東京ミッドタウン日比谷 2F
☎03-6831-4620(レストラン)
11:00～23:00

隠れた老舗も旬の店も。知る人ぞ知る人気の味

朝から行列ができるカスタードアップルパイから、博多の老舗和菓子店。
体を整えるメニューを揃えたレストランなど、「日比谷」は話題の味揃い。

鈴懸

創業90年余、博多の地に誕生した和菓子の老舗。「現代の名工」の表彰を受けた初代の教えにもとづき、厳選した素材に由来する味と技を極めている。福岡県産のあまおうを、やわらかな求肥で包んだ「苺大福」324円。昔ながらの製法にこだわった生地を子孫繁栄を祝う柏の葉で包んだ「柏餅」「蓬之柏餅」各216円。

Shop Data
東京ミッドタウン日比谷 B1
☎03-6811-2206
11:00～21:00

RINGO

工房一体型の店舗で、月間30万個の売上を誇るアップルパイの専門店。バターをふんだんに練り込んだ144層のサクサクのパイ生地の中に、キューブ型のリンゴとカスタードクリームがたっぷり詰まっている。「焼きたてカスタードアップルパイ」1個399円、4個1,512円。

Shop Data
東京ミッドタウン日比谷 B1
☎03-6273-3315
11:00～21:00

東京ミッドタウン（六本木）
春のイベントニュース

SPRING EVENT NEWS

そぞろ歩きが楽しいこの季節。
春から初夏にかけて開催される
とっておきのイベントをご紹介！

約150本の桜と春を華やかに祝う

MIDTOWN BLOSSOM 2018

SPRING 1 WARS

都心ならではの春を満喫できるイベントが、3月16日（金）から4月15日（日）まで開催。11回目となる今回のテーマは「春を味わう」。桜並木の幻想的なライトアップや、桜の下で極上の料理を味わえる屋外ラウンジなど、春の到来を五感で感じたい。

※過去の様子

Spring Flower Display

館内を華やかに彩る、春の躍動感を鮮やかに表現したフラワーアートは必見。今回は、2016年度の「フラワーアートアワード」優勝チームのアーティストによる、ダイナミックで優雅な作品が登場する。

期間／3月16日（金）～4月15日（日）
時間／9：30～0：00（ガレリア1F開館時間）
場所／ガレリア1F　ツリーシャワー
アーティスト／大泉麗仁、やまぐちとくえ、モランジュ麗達

桜ライトアップ

約200m続く桜並木のライトアップ。開花前はピンク色、開花後は白色のライトを照らし、幻想的な空間を演出。館内一部のレストランでは、食事をしながら桜を楽しめる。

期間／3月16日（金）～4月15日（日）
※桜の開花状況によりライトアップの色が変わります。
時間／17:00～23:00
場所／ミッドタウン・ガーデン

CHANDON Blossom Lounge

「CHANDON」との初のコラボレーションによる期間限定ラウンジ。ザ・リッツ・カールトン東京の総料理長ティエリー・マーレーさんによる特別なメニューとともに、春色のスパークリングワインを堪能したい。

期間／3月16日（金）～4月15日（日）
※荒天中止
時間／12:00～20:00（L.O.19:30）
※金曜・土曜、桜満開時は21:00まで（L.O.20:30）
場所／ミッドタウン・ガーデン

※メニューは変更になる場合があります。

期間／4月20日（金）～5月27日（日）
【アートこいのぼり】
期間／4月20日（金）～5月6日（日）
※「こいのぼりくぐり」は5月3日～6日まで。
時間／11:00～21:00
場所／ミッドタウン・ガーデン

1.国内外のアーティストによる作品を展示する「アートこいのぼり」。2.昨年話題を集めた「こいのぼりくぐり」が今年も登場。友禅染の巨大こいのぼりを体感できる。

アートと共に新緑を満喫する

OPEN THE PARK 2018

SPRING 2 WARS

爽やかな風が心地よい季節には、「アートピクニック」をテーマにしたイベントへお出かけを。恒例のミッドパークヨガのほか、子どもの成長を願う色鮮やかなこいのぼりが木々の間で舞うミッドパークギャラリーなど、新緑を満喫できる企画が満載だ。

ハワイの音楽とライフスタイル

ANA presents HML FESTIVAL

SPRING 3 WARS

ハワイの人々に愛される音楽を通し、ライフスタイルを味わえるイベントが初開催。フラとヨガを融合したワークショップ、ハワイ最高峰のアーティストによるライブパフォーマンス、厳選グッズがそろうハワイアンマーケットなど、館内がハワイ一色に染まる。

期間／4月28日（土）～5月6日（日）
時間／10:00～20:00
※アトリウム、コートヤードは11:00～20:00
場所／ホールA・B、アトリウム＆コートヤード、芝生広場
お問い合わせ／イベント事務局
☎03-6629-3187（ヤスダインターナショナル）

1.ハワイアンマーケットではKONISHIKIによるライブも。2・3.芝生広場で行われるフラ・ヨガ・ウクレレワークショップ。アーティストのナタリーなど、著名な講師陣が集結。

NEW SHOP PREVIEW

@TOKYO MIDTOWN

この春、東京ミッドタウン（六本木）にオープン！

SHOP 3

“毎日の生活を
楽しく、使いやすく
美しくするデザイン”

KONCENT

ガレリア3F

水たまりに水滴が跳ねるさまを形にした傘立て「スプラッシュ」、動物の形をした輪ゴム「アニマルラバーバンド」など、暮らしの中の楽しいグッドデザインを次々に生み出すアッシュコンセプトによるデザインプロダクトショップ。オリジナルブランド「＋d」をはじめ、デザイナーや企業、産地とつくり上げたプロダクトが揃う。モノを「創る人」と「造る人」、「使う人」をつないでいく「デザインのプラットフォーム」といえるショップ。

上／風で回るマグネット「カゼグルマベーシックシリーズ」（3×2.4×H3cm）各594円。下／2003年にデザインされた傘立て「スプラッシュ」。バリエーションも揃っている。「スプラッシュ ミニ」4,860円。

SHOP DATA
東京ミッドタウン ガレリア3F
☎03-6432-9157
11:00～21:00
※3月1日（木）オープン

“上質な日常のために。
物語のある香りを
身にまとう”

diptyque 六本木

ガレリア1F

1961年のパリ。サン・ジェルマン通り34番地に、小さな店がオープンした。香り一つひとつにストーリーがあり、ミステリアスでありながら親しみも感じさせるディプティック。今ではオードトワレからフレグランスキャンドルまでを扱うメゾンブランドに成長した。最初のオードトワレ「ロー（L'Eau）」の発表から50年、新作のオードパルファンの発表とともに、国内で6店目の直営店が東京ミッドタウンに。

上／オードパルファン「テンポ」。60年代を象徴する原料、パチュリを核とした香り。75ml 20,520円。下／ムスクを中心に、アイリスを組み合わせた「フルールドポー」。75ml 20,520円。

SHOP DATA
東京ミッドタウン ガレリア1F
☎03-6804-5415
11:00～21:00
※今夏オープン（予定）

SHOP 2

SHOP 1

“イタリアの人気ブランド、
ザネラートの
日本初の旗艦店！”

ZANELLATO

ガレリア2F

イタリア・ヴェネト州ヴィチェンツァで、1976年に創業したレザーブランド「ザネラート」。待望の日本で初めての旗艦店だ。50年代にイタリアのポストマンが使用していたバッグをベースにした「ポスティーナ」は、イタリア郵政省からも認可を得たエクスクルーシブモデル。ブランドのアイコンとして愛されている。東京ミッドタウン店では、ベーシックなものから限定アイテムまで、幅広いラインナップを揃える。

上／スクエアシェイプのNINA S（28×12×H15cm）129,600円。
下／ブルーのバッグはこのブランドのアイコン。POSTINA M（36×17×H23cm）129,600円。

SHOP DATA
東京ミッドタウン ガレリア2F
☎03-6447-4830
11:00～21:00
※3月30日（金）オープン

An Interview with

Hiromi Uehara
上原ひろみ

東京ミッドタウン(六本木)「ガレリア」のBGM選曲を担当

世界的に活躍するピアニスト・作曲家が
演出する季節ごとの音楽が、
東京ミッドタウン「ガレリア」を訪れる人びとの
心を浮き立たせる。「選曲という仕事は初めて」という
上原ひろみさんのお話をうかがった。

Text by Daisuke Nakanishi

昨年、上原ひろみさんは2枚のデュエット作品をリリースした。矢野顕子さんとの『ラーメンな女たち』、そしてコロンビアのハープ奏者エドマール・カスタネーダ氏との『ライヴ・イン・モントリオール』。上原さんにとって、音楽的な対話であるデュエットの醍醐味とは何だろうか。

「デュエットは対決ではありません。お互いがお互いを輝かせ合うチームプレイがとても大事」

新しいデュエットのパートナーであるカスタネーダ氏を「空気を敏感に察知する日本人に近い感覚の持ち主」と評する。「エドマールは、日本の〝ワビサビ〟がわかる感じがしました」

一方、矢野顕子さんとは2004年の出会い以来の長いお付き合いだ。

「長くデュエットをやっている相手と久しぶりに一対一になると、手合わせをしなかった時間にそれぞれのプロジェクトで吸収したものを、相手のなかに感じ取ることができます。それがすごく楽しいですね。矢野さんとは、二人で作る世界観も確立してきて、やりがいがありました」

東京ミッドタウンのBGM選曲は、その矢野顕子さんの後任でもある。

「それは全然意識してないです。ただ、矢野さんからは『よろしく!』と(笑)」

ジャズだけでなくロック、ファンク、クラシックなど幅広い音楽的バックグラウンドを持つ上原さんは、どのように音楽で空間演出するのだろう。

「自分が聞きたい曲というのが重要です。自分が楽しめないものは人にも楽しんでもらえない。選んでいると歌モノが多くなって、あらためて私は歌が好きなんだと感じました。自分はインスト(器楽曲)になってもおかしくないのに」。しかし、上原ひろみさんのファンなら、ソロでもデュオでもトリオでも、彼女のピアノはいつも歌っていると感じているかもしれない。

上原さんは東京ミッドタウンを「都会のなかに溶け込めたような気持ちがする場所」だと言う。だから、そこで流れる音楽も「訪れる人の心をくすぐったり、揺さぶったりするものでありたい」と。そんな上原さんの気持ちが込められた音に満たされて、東京ミッドタウン「ガレリア」の季節がめぐる。

> 〝東京ミッドタウンという気持ちが高揚する場所で心を揺さぶる選曲がしたい〟

PLOFILE

上原ひろみ／1979年、静岡県浜松市生まれ。6歳からピアノを始め、作曲を学ぶ。バークリー音楽大学在学中の2003年にアルバム『Another Mind』で世界デビュー。2013年、アメリカのジャズ専門誌『ダウン・ビート』のカバーを飾る。
www.hiromiuehara.com

NEW ALBUM

上原ひろみ×エドマール・カスタネーダ
『ライヴ・イン・モントリオール』
(UNIVERSAL MUSIC)

書き下ろしの組曲「ジ・エレメンツ」ほか、運命の出会いを果たしたカナダのジャズフェスでの白熱のステージを収録。2017年度の第59回 日本レコード大賞にて「優秀アルバム賞」を受賞。通常盤のほか、DVD付きの初回限定盤も。

東京ミッドタウン10周年ソング収録
最新アルバム好評発売中

矢野顕子『Soft Landing』
(Victor Entertainment)

東京ミッドタウン開業10周年記念ソング「六本木で会いましょう」が収録された7年ぶりのピアノ弾き語りアルバム。YUKIやフジファブリックのカバー、盟友糸井重里作詞の新曲など、せつなさ、さわやかさ、あたたかさを持った珠玉の13曲を収録。

Present

TOKYO MIDTOWN STYLE / 2018 SPRING

『STYLE』へのご意見・ご感想をお聞かせください!

『STYLE』Vol.37 はお楽しみいただけたでしょうか。
読者アンケートにご回答いただいた方の中から、抽選で素敵なプレゼントを進呈いたします。
ご応募は、http://www.tokyo-midtown.com/jp/style37 よりアクセスし、
ご希望のプレゼントをお選びください。応募締め切りは、2018年4月15日(日)です。

※プレゼントの当選者の発表は、商品の発送をもってこれに代えさせていただきます。

2組
4名様

東京ミッドタウン日比谷
Billboard cafe & dining
「ディナー」

ハイクオリティな音響と心地よさにこだわった、ビルボードブランドによる音楽と食のエンターテインメントカフェ。

※ドリンクは別料金となります。
※有効期限:2018年8月末日

3
名様

東京ミッドタウン(六本木)
uka「カスタマイズケア」

SHISEIDOと共同開発のサロントリートメント。髪質に合わせてカスタマイズすることにより持続力アップ。ダメージから解放された美しい髪へ。

3
名様

上原ひろみさんサイン CD
「ライヴ・イン・モントリオール」

世界最高峰のハープ奏者エドマール・カスタネーダさんとのデュエットによる、白熱のステージ。DVD付き初回盤。

CONTACT INFORMATION

【東京ミッドタウン日比谷】 ※3月29日オープン
Halo H.P. FRANCE BIJOUX ／1F／☎ 03-6550-8952
イセタン ミラー メイク&コスメティクス／1F／☎ 03-6812-7157
LEXUS MEETS... ／1F／☎ 03-6205-7715(プティック)
A.P.C. ／2F／☎ 03-6273-3535
MASTERMIND TOKYO ／2F／☎ 03-6257-1018
REVIVE KITCHEN THREE ／2F／☎ 03-6831-4620(レストラン)
TATRAS & STRADA EST ／2F／☎ 03- 6273-3400
Tempo Hibiya ／3F／☎ 03-6206-1152
YELLOWKORNER ／3F／☎ 03-6273-3403
Billboard cafe & dining ／3F／☎ 03-6273-3355
RESTAURANT TOYO ／3F／☎ 03-6273-3340
SALONE TOKYO ／3F／☎ 03-6257-3017
南禅寺 瓢亭／3F／☎ 03-6811-2303
DRAWING HOUSE OF HIBIYA ／6F／☎ 03-3519-3700
boulangerie Bonheur ／B1／☎ 03-6257-1006
Susan's MEAT BALL(HIBIYA FOOD HALL 内) ／B1／
☎ 03-3519-7311
RINGO ／B1／☎ 03-6273-3315
鈴懸／B1／☎ 03-6811-2206
TOHO シネマズ 日比谷／4F／☎ 050-6868-5068

東京ミッドタウン日比谷・コールセンター(3月21日～)
☎ 03-5157-1251(受付時間 11:00～21:00)

【東京ミッドタウン(六本木)】
ISETAN SALONE ／ガレリア1・2F／☎ 03-6434-7975
GOLDEN GOOSE DELUXE BRAND ／ガレリア1F／
☎ 03-3408-6705
STRASBURGO ／ガレリア1F／☎ 03-3403-0777
ZANELLATO ／ガレリア2F／☎ 03-6447-4830
(3月30日オープン)
diptyque 六本木／ガレリア1F／☎ 03-6804-5415
(今夏オープン予定)
bamford ／ガレリア2F／☎ 03-5413-4250(ショップ)
Ron Herman ／ガーデンテラスB1／☎ 03-6447-0561(ショップ)
THE COVER NIPPON ／ガレリア3F／☎ 03-5413-0658
STYLE MEETS PEOPLE ／ガレリア3F／☎ 03-5413-3705
HARMAN Store ／ガレリア3F／☎ 03-5413-8150
KONCENT ／ガレリア3F／☎ 03-6432-9157
SILIN 火龍園／ガーデンテラス2F／☎ 03-5413-0088
HAL YAMASHITA 東京／ガーデンテラス1F／☎ 03-5413-0086
Le Pain Quotidien ／プラザ1F／☎ 03-6804-5879
六本木テラス フィリップ・ミル／ガーデンテラス4F／
☎ 03-5413-3282
JEAN-PAUL HÉVIN ／ガレリアB1／☎ 03-5413-3676
DEAN & DELUCA ／ガレリアB1／☎ 03-5413-3580
とらや／ガレリアB1／☎ 03-5413-3541
pâtisserie Sadaharu AOKI paris ／ガレリアB1／☎ 03-5413-7112
uka ／ガレリア2F／☎ 03-5413-7236
サントリー美術館／ガレリア3F／☎ 03-3479-8600
21_21 DESIGN SIGHT／ミッドタウン・ガーデン／☎ 03-3475-2121
FUJIFILM SQUARE ／ミッドタウン・ウェスト1F／☎ 03-6271-3350
Tokyo Midtown Design Hub ／ミッドタウン・タワー5F／
☎ 03-6743-3776
ザ・リッツ・カールトン東京「タワーズ」／
ミッドタウン・タワー45F／☎ 03-6434-8711

東京ミッドタウン・コールセンター
☎ 03-3475-3100(受付時間 10:00～21:00)

COVER

Photo : Takumi Taniguchi

STAFF

Publisher : Mitsui Fudosan Co., Ltd.
Tokyo Midtown Management Co., Ltd.
Editorial : Hearst Fujingaho Co., Ltd. Content Marketing
Shoei Co., Ltd.
Art direction : Takahito Noguchi
Design : Dynamite Brothers Syndicate

イベントやショップの案内、最新トピックスなど、
お客様に役立つ情報をお届けします。
メールマガジン
http://www.tokyo-midtown.com/jp/mail/
公式 Facebook ページ
東京ミッドタウン／TOKYO MIDTOWN

※本誌掲載の「東京ミッドタウン日比谷」店舗の電話番号は、3月27日(火)より開通となります。　※掲載している情報は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

Story_3

日本酒の「もっきり」はおこぼれ文化の最たるもの

和本と日本酒は相性バツグン

Photos by Robert Campbell

発酵したものならお酒は種類を問わない。外食はとりあえずのビールから冷酒に移るか、シャンパンを二、三杯飲んでから軽めの白、フルボディな赤ワインへと杯を進めることで流れが決まる。寒い夜だけ、生ビールをぐいと一杯傾け、日本酒の熱燗に直行する。冷酒は頼むつどに銘柄を変えたい。熱燗は脇目もふらずお店の奨めに従って生一本、一種類で通す。東京は、国内海外からありとあらゆる美酒が集まるから、長くはここを離れたくない。

むかし、日本ではお酒を飲む目的が何か、ということが議論されていた。酔うためであるとか味や香りを楽しむため以上に、飲酒という行為そのものが持つ趣、味の外にある人生の「味わい」に通じるものを追究するのが上手い酒だ、という考え方が根強い。

たまたま私の手許に、お酒の「正しい」飲み方を説いた江戸時代の板本（はんぽん）が二種類ある。どちらも、飲む時に相手との会話がはずみ、距離が縮まるかたちで杯を酌み交わす術を教えている。ひとつ目は、『飲夢』という一冊（小原鉄心著、慶応三〔一八六七〕年刊。もと漢文）。「酒を飲んで趣を知らない人は、本を読んで意味が分からない人と一緒だ」と、かなり手厳しい。江戸の酒席では始めに「乾杯！」といくのではなく、宴も酣（たけなわ）に有無を言わさず客と一緒にぐいと杯を挙げてから会を終える習慣があった。だが、それでは酒は十分に楽しめず趣がない、と断言する。「客と亭主が揃えば先ず大きな杯で一杯を酌み交わし、酔いを身に付けておくことだ。そこからペースを落とし、真情を語り合おう。こうしてようやく酒の中の趣を全うするのである」とまとめている。

もうひとつは、その名も『酒中趣』である（清代・石天基著、嘉永二〔一八四九〕年刊。漢文）。こちらは微醺（ほろよい）を奨める。ちかごろ流行っている晩酌は避けるべきで、気分もまだフレッシュな昼下がりから数杯の酒を飲んで「真の楽しみ」にひたるコツを書いている。

ひらたく言えば酒はきっかけであり、人生の醍醐味を味わうためのものだというわけだが、ここで思い出すのは日本酒の「もっきり」である。「盛切酒（もっきりざけ）」の略。徳利を使わず茶碗やコップ一杯でいくらと定めて売る酒のこと。注ぎつ注がれつの煩わしさもなく個人主義的で、銘柄の選択にも人柄が表れる。給仕する人が升酒の枡を白い皿におき、または枡の中にコップを置いて、瓶から直接どぶどぶと清酒を注ぎ、溢れさせる。最高である。ヨーロッパでグラスワインを頼むとそのグラスに目盛りがしっかりと印字してあって、一ミリの狂いはない。これに比べると、溢れさせた日本のもっきりはまさに「零れ幸い」で、格段の趣が出る。おこぼれ文化の最たるものだと私は思う。

出張で博多に行くことが多いが、帰りに必ず博多駅の奥にある住吉酒販という角打ち（立飲み屋）に寄る。九州一円の美酒をもっきりで飲めるから堪らない。その上にアテも美味く、酒を出す工夫をいろいろしている。好きなひとつは「イロハニ枡」。大きな枡に別々の酒を盛ったガラスや陶器のお猪口を四つ置いてぽんと出す。枡の外側に「イ」「ロ」「ハ」「ニ」と焼き印が付いていて、何を飲んでいるか瞬時に分かる。盛っている種類が別々なので零したりはしないけれど、零れたように、とてつもなく豊かな気分になる。今度オープンする東京ミッドタウン日比谷にも、住吉酒販が進出すると聞いた。おこぼれをいただきに、早く出かけてみたい。

ロバート キャンベル
Robert Campbell

ニューヨーク市出身の日本文学研究者。江戸から明治時代の日本文学が専門で、特に19世紀の都市空間と人の心に強い関心を寄せている。また、文芸ジャンルを超えて、日本の文化、メディア、思想などにも造詣が深い。テレビでMCやニュース・コメンテーターなどを務める一方、新聞や雑誌の連載、書評、ラジオ番組出演など、さまざまなメディアで活躍中。愛猫の名は夕吉。